

情報かわら版

10



今月の表紙：まいたけ

今月のトピックス

- ▷ NGT48農業部密着取材！（稲刈り編） 秋空の下、「ときむすめ」収穫に汗！
- ▷ 国内資源肥料フォーラム in 北陸 開催
- ▷ 高病原性鳥インフルエンザに係る防疫措置に御協力いただいた自衛隊への農林水産大臣感謝状の贈呈
- ▷ スマート農業技術活用促進法に基づく生産方式革新実施計画の認定～株式会社アグリサービスカンパニー（長岡市）～
- ▷ 農林水産祭林産部門で大白川生産森林組合（魚沼市）が天皇杯受賞！

電子版はこちら ▶



10月3日、NGT48農業プロジェクトは、新発田市内のあおばこども園の園児35人を迎え「ときむすめ」の稲刈りを行いました。

NGT48からは、西潟茉莉奈さん、清司麗菜さん、北村優羽さん、北澤百音さんの4名が園児たちの応援を受けコンバインの操縦に💦。園児との手刈りにも挑戦！



本日の食育授業



操作の確認をする西潟さん



左から、西潟さん、北澤さん
清司さん、北村さん

〈北澤 百音さん〉

➤今日はいいいお天気での稲刈りですが、どんな気持ちですか

私は今年の作業に全部参加させていただきました。稲刈りは最終盤なのですごく楽しみだったし、ワクワクしながら来ました。

➤「ときむすめ」はどのような形で皆さんに届けたいですか

私もおコメを買っていますが、携わってみて大変だったし、農家の皆さんが大変な思いをしておコメを届けてくれることを考えると感動したので、私たちも「美味しくて感動しちゃった」と言ってもらえるようおコメを届けたいです。

➤初めて乗ったコンバインの感想は

田植え機は意外とスムーズにできた気がしていたけどコンバインの操縦は難しかったです。田植え機は丸ハンドルでマリオカートみたいな感じで出来たけどコンバインはレバーだったのでちょっと動かしただけでヒュンと動いて難しかったです。こういった作業も楽しいのでまたやってみたいです。



手を添えて



〈北村 優羽さん〉

➤今年、作業をやってみてどうでしたか

今年は草刈りと稲刈りに参加させてもらいました。草刈りは初めてで、機械を自分の力で押さなくてはいけなくて思っていた以上に大変でした。稲刈りのほうが大変かなと思っていたけど稲刈りは意外にコンバインでスラスラいけました。以前、初めてコンバインに乗ったときは高さもあってちょっと怖かったですけど、今日は（二度目なので）怖くなく思ったよりきれいにできたんじゃないかなと思います。

➤後日、おコメを子供たちに届けるようですが

いっしょに稲刈りをして自分で刈ったおコメだと思って食べてもらえると嬉しいし、私たちがみんなで作ったおコメなんだということもちゃんと伝えて農業の大変さや大切さ、農家の皆さんへの感謝の気持ちを少しでも持つことを子供の頃から考えられる機会になったらいいなと思います。



〈清司 麗菜さん〉

➢だいぶベテランになりましたが、振り返っての思いは

農業を始める前は結構大変なイメージがあったんですけど、実際やってみると大変だけでなく楽しさを感じた一年だったなと思います。

➢楽しさはどんな時に感じましたか

農業を始めなかったら農家の方と関わることもなかったことですし、新潟の人達との温かさにも触れられてるなって感じます。普段は園児たちとコミュニケーションをとる機会はなかなかないのでその面でも楽しいと思います。

➢子供たちにおコメを届けるようすが

普段食べているおコメはこういった過程で出来ているんだよっていうのを頭の片隅にでも置いておいてもらえたら大人になった時とかに、子供の頃に稲刈りやったなという懐かしい思い出として残ってくれたらいいと思うし、おコメを食べて笑顔になってほしいなと思います。



初めての共同作業



〈西潟 茉莉奈さん〉

➢今年を総括して

今年はおコメの値段が上がったり天候の関係でいろいろ心配な部分はあったんですけど、こうして無事に稲刈りができて、稲が育っていく姿を見届けられたことがすごくうれしかったです。おコメがスーパーから消えていく姿も見ていたので多くの方に美味しいおコメが届けられたらいいなと思います。

➢グニャグニャで田植えしたところがあったけど（詳細は、2025.5月号にて）

そのとおり成長してくれて刈ったところもそのまま、グニャグニャでもいいんだって、人生じゃないですけど最後ちゃんとなればいいんだ、失敗してもいいんだって思いました。無事に育てば・・・

➢参加してくれた子供たちへの思いは

子供たちも稲刈りに参加してもらえておコメの育つ過程やおコメってこういうふうに出来ているんだって学んでもらえたらいいなと思いますし、食の有難みを感じながらご飯を食べて大きくなってほしいなと思います。

➢「ときむすめ」のコラボ販売について

「ときむすめ」は市内のおにぎり屋さんとかラボさせていただいています。おコメの美味しさを伝えつつも私たちが考えたおにぎりをたくさん食べていただきたいです。

私はシンプルに塩おにぎりでおコメ本来の美味しさを感じながらいただきたいですね。



おコメもいい出来



田んぼを提供
いただいてる
越後新鮮組の
本間社長



国内資源 肥料フォーラム

国内肥料資源の利用拡大に向けたマッチングフォーラム

in北陸

来場
無料

畜産堆肥や下水汚泥等の肥料原料供給事業者、肥料メーカー、肥料利用者等の関係者が集い、国内資源由来肥料の利用拡大に向け交流やマッチング機会の創出を行う「国内資源肥料フォーラムin北陸」が、新潟県で開催されます。

北陸農政局のブースでは、農林水産省の支援策や管内の優良事例等を紹介します。肥料に関する支援制度のご相談も受け付けますので、お気軽にお立ち寄りください。

開催日時

令和7年 **11月13日(木)** 13:00～16:30 (12:45～受付開始予定)

開催場所

朱鷺メッセ 2階 メインホール (新潟市中央区万代島6番1号)

プログラム
(予定)

13:05 ～ 基調講演

「土と肥料の未来を掘りさげる」

福島国際研究教育機構 藤井 一至 氏



14:00 ～ 事例発表

- ①「指導農業士会が目指す環境と調和の農業」
(新潟県鶏ふん利活用推進協議会)
- ②「下水汚泥資源の利活用と普及拡大」
(緑水工業株式会社 -新潟県長岡市-)
- ③「もみ殻の肥料化までの道のりと今後の展望」
(JAいずみ野 -富山県射水市-)

15:00 ～ 交流コアタイム (40ブース出展)

来場予約

以下のURLまたは二次元バーコードからお申込みください。

<https://reg18.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=mbpa-mbqimc-a4e5e931a25aaf9c83159edf4cacc6d9>



「国内資源肥料フォーラム in 北陸」公式HP

<https://agri.mynavi.jp/hiryo-forum/hokuriku/>



現地での登録・入場は大変混雑しますので、事前予約のご協力をお願いいたします。

高病原性鳥インフルエンザに係る防疫措置に御協力いただいた 自衛隊へ農林水産大臣感謝状を贈呈しました

農林水産省は、令和6年シーズンにおける高病原性鳥インフルエンザの発生において、まん延を防止するため防疫措置の実施に尽力いただいた自衛隊の皆様に対して、農林水産大臣感謝状を贈呈しました。

北陸農政局管内では、令和7年9月19日に植野局長が陸上自衛隊第30普通科連隊(新潟県新発田市)を訪問し、郡山連隊長へ感謝状を贈呈しました。また、贈呈式に新潟県拠点から田口地方参事官が同行しました。



左:郡山連隊長、右:植野局長



前列左:田口地方参事官、前列左中:植野局長
前列右中:郡山連隊長

「農業の生産性の向上のためのスマート農業技術の活用に関する法律」に基づく生産方式革新実施計画の認定

北陸農政局は、農業の生産性の向上のためのスマート農業技術の活用に関する法律(令和6年法律第63号)に基づき、「株式会社アグリサービスカンパニー(長岡市)」から申請された生産方式革新実施計画の認定を行いました。



▲10/9田口地方参事官から認定証を授与しました

ほ場区画拡大による自動操舵農機の作業効率向上と、
直播面積割合の拡大による作期分散で収益性アップ

北陸農政局HPプレスリリース

<https://www.maff.go.jp/hokuriku/news/press/seisan/250930.html>



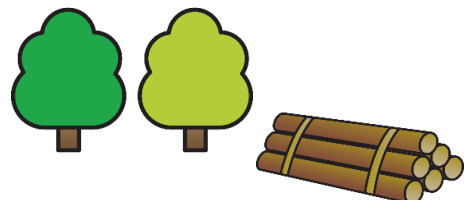
令和7年度農林水産祭天皇杯等三賞の受賞者が決定しました！

令和7年度農林水産祭の受賞者が決定され、林産部門で魚沼市の「大白川生産森林組合」が天皇杯を受賞しました。大白川生産森林組合では、川上から川下までの関係者が連携し、ブナ林の持続的経営とブナ材の有効活用を進めています。

三賞(天皇杯、内閣総理大臣賞、日本農林漁業振興会会長賞)の受賞者一覧及び受賞理由概要が農林水産省HPに掲載されていますので、ご覧ください。

農林水産省HPプレスリリース

<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/bunsoyo/251002.html>



農林水産祭は、国民の農林水産業と食に対する認識を深めるとともに、農林水産業の技術改善及び経営発展の意欲を高めるため、農林水産省と公益財団法人の日本農林漁業振興会の共催により昭和37年から実施しています。

編集後記

新潟県のまいたけ生産量は全国1位(令和6年特用林産基礎資料)となっていますが、まいたけは栽培されているものの他、自生しているまいたけもあるって知っていますか。

自生しているまいたけは栽培されているまいたけより、香りが強く味も良いと言われていますが見つけるのが非常に難しく、見つけると舞い踊るほど喜んだことから舞茸(まいたけ)という名前になったという説があります。この季節になると山沿いの農産物直売所などに売られていることがあります。一度くらいは食べてみたいですね。



お問い合わせ



北陸農政局新潟県拠点では、「現場と農政を結ぶ」業務を通じて、地域の皆様にタイムリーに農政に関する情報をお伝えするとともに、農業現場の抱える課題や農政に対する意見をきめ細かに汲み上げ、各種施策につなげていくこととしています。

地域の農業者(地域の担い手や若手農業者、女性農業者など)の方の集まり等で、「農業施策の〇〇について聞きたい。」といったご要望がございましたら、直接伺ってご説明いたします。

ご遠慮なく、お気軽に下記へご連絡ください。

北陸農政局新潟県拠点 地方参事官室

〒951-8035 新潟市中央区船場町2-3435-1

TEL 025-228-5216

ホームページ <https://www.maff.go.jp/hokuriku/nousei/niigata.html>

新潟県拠点HP
はこちら▼

